



NPO法人 あすみが丘国際交流

Newsletter

NPO 法人あすみが丘国際交流 No.75 2018.07.07 発行 会員数 901 名(2018.03.01 現在))

住所 〒267-0066 千葉市緑区あすみが丘4-1-6 エクレール土気 101
TEL/FAX : 043-294-9551 E-mail : aifs@eastcom.ne.jp
Asumigaoka International Friendship Society = AIFS (アイフス)
<https://www.npo-aifs.org/> <http://aifs.cocolog-nifty.com/blog/>

ホキ美術館 訪問記



ホキ美術館入口

梅雨入り目前の2018年6月9日、理事3人（金井・坂本・小幡）が、あすみが丘東にあるホキ美術館を訪問しました。保木館長、広報の松井さん、および安田東京藝術大学教授にご対応して頂き、企画展示の芸術作品を見ながら、説明を受けるとともに、インタビューにもお答え頂きましたので、その内容を報告します。

ホキ美術館は、日本で唯一、世界で最初の写実絵画専門の美術館であります。現在、ホキ美術館に続いてスペインにも専門美術館が造られ、イタリアのルネッサンス美術を彷彿とさせる写実藝術の復活なのでしょう。風景画・肖像画・人物画など、写真のようなリアルな写実絵画がたくさん展示されております。今年で3回目となる「ホキ美術館大賞」を目指し、写実画を得意とする全国のアーティストから、多くの作品が集まるほど、ホキ美術館は写実藝術の殿堂、聖地となりつつあります。

スペインのバルセロナにあるヨーロッパ近代美術館（MEAM）は世界で2番目となる写実絵画専門の美術館です。日本とスペインの国交150周年の記念行事として、この美術館相互に、絵画の交換展示が行われる予定があるとのことでした。今年の2018年には60点がスペインに渡り、来年の2019年はスペインからホキ美術館に絵画群がやってきます。まさに、芸術作品の国際交流です。AIFSとしても、何か協力推進のチャンスがあれば嬉しいです。

＜保木館長へのインタビュー＞

質問1) 美術館を作った理由は何ですか？

回答) 父がある画家に出会い、彼の絵画がとても欲しくなり、少しずつ集めていきました。以前は、隣接する家に、集めた絵画を展示していましたが、もっと多くの人に絵画を見て頂きたいと思い、美術館を開設しました。

質問2) あずみが丘に美術館を作った理由は何ですか？

回答) 父は当初、観光地などを考えていましたが、いくつかの不動産物件と比較して、結局、自宅のあるあずみが丘を選びました。

質問3) 地下空間がとても広大ですが、何か理由はありますか？

回答) あずみが丘は、第一種低層住宅地域なので、高さ・建蔽率が制限されていて、階上だけだとフロアが狭くなり、地下空間を活用すれば、延べ床面積を大きくすることができるので、結果的に広大な地下空間ができました。

質問4) 写実藝術の範囲に絞られた理由は何ですか？

回答) 「写実絵画は誰にでもわかりやすい。」との父の考えです。

質問5) 将来に渡って、写実絵画専門の美術館として運営されるのでしょうか？

回答) 今後も、写実絵画をメインとして展示・企画を進めていきます。

質問6) 常設・企画展示の芸術作品の選択は、どのように行われていますか？

回答) 館長の判断で実施しています。

質問7) 今後の夢を教えてください。

回答) 写実絵画のアーティストを応援して、世界的に有名になれるようにサポートしたい。あずみが丘からも著名なアーティストが生まれると良いです。 (文責：小幡敏信)



(左から安田教授、保木館長、金井、小幡、坂本)

現在開催中の企画展は 「SPARKーあの時君は若かった」です。

<https://www.hoki-museum.jp/exhibition/index.html>

AIFSからのお知らせ

ITメディアをより活用するために、電子メールアドレスをお知らせください

色々な情報を素早くお知らせできます。また新HPを見て頂くと、新しい情報だけでなく過去のアーカイブ情報も手に入ります。

インターネット参照 <https://www.npo-aifs.org/>

ご賛同の方は、お名前・住所・メルアド に加え選択記号 (A または B) を記入の上、gaifs117@gmail.com まで、メール送信願います

A. 紙のNLではなく、電子文書のNLのみで十分です。

B. NLについて、紙も電子文書も両方とも希望します。

くらしのにほんごくらぶ

坂本裕子

あすみが丘に20年暮らし、昨年初めて「くらしのにほんごくらぶ」に関りを持ちました。

現在 AIFS 会員6名のボランティアスタッフにより、その活動が続けられています。

私が持っていた“国際交流”という言葉のイメージよりもずっと柔らかく、アットホームなこの活動は年月が経ち町も人も歴史を重ねる中、長く続けてきました。

その活動を今回は少し振り返ってみたいと思います。

「くらしのにほんごくらぶ」では、近隣在住外国人の方々の生活相談・手助けの支援、日本文化を学びながら日本で生活をする際の助けとなる日本語の学習提供、地域周辺在住外国人との交流会、留学生の日本文化体験コーディネイト、ホストファミリー支援、公的機関国際交流事業の企画協力 国際交流団体（県国際交流センター、市国際交流協会など）事業への参加協力等を行って参りました。

日本文化を伝える季節のイベントは、1月の七種粥に始まり、節分、雛祭、お花見、端午の節句、七夕、お月見、お正月仕度など、その習わしを伝え実際に浴衣を着たり、飾り物を作るなど体験をしていただきました。

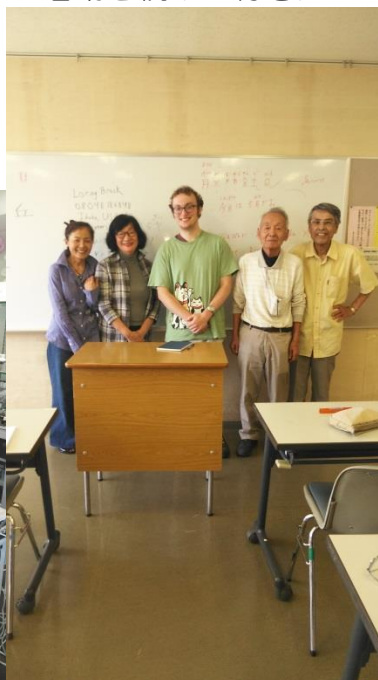
またプラザ祭りでは出店をし、200～300食の食事を国際色豊かに提供してきました。

どの活動も活字にすると何文字かの単語になってしまいましたが、言葉や国を超えた人と人との繋がりが湧いてくる気持ちが、こうした活動の元となり、また続けてきた理由だと感じています。

また私が驚いたのは、思ったより多くの外国の方が生徒さんとして参加して下さっていたという実績です。フィリピン、韓国、中国、ベトナム、モルトバ、ブラジル、モンゴル、ウガンダ、タイ、アメリカ、スイス、スリランカ、イラン、アフガニスタン、ニュージーランド、デンマーク、英国、メキシコ等々、なんと沢山の国の方々がこのあすみが丘にご縁をいただいたのでしょうか！

「くらしのにほんごくらぶ」では現在も身近な日常会話から日本語独特の言い回しや表現、また生活に関する情報など、正しく、実際に役立てて貰えることを考えながらスタッフ一同活動を行っています。

私たちにとっては身近で迷いなく使える“にほんご”を生徒さんが理解し、“！”の喜びの表情を見る時、それはなんとも新鮮で嬉しい瞬間です。これから又お会いできる新しい生徒さん達と、小さいけれど暖かい気持ちを共有し、楽しい活動を続けて行きたいと思います。



花いっぱい運動 花植え活動報告

6月2日土曜日、土気駅前南口広場の大型フラワーポット8鉢の植え替えを会員ボランティア総勢10名に参加頂き実施しました。

朝から晴天に恵まれ清々しい気分で作業ができました。

去年の秋から駅前を飾ってくれていたパンジーさんご苦労様でした。バトンタッチされたベゴニアさん、次の半年間よろしくお祈りします。私たちも水やり頑張ります！

植え替え作業は約40分で終了。

その後、近くの喫茶店のテラスで冷たい飲み物を飲みながら、今後のコミュニティー活動や国際交流の在り方についてフランクな意見交換をしました。



*AIFS(NPO あすみが丘国際交流)では、梅雨明け後秋の花植え替えまでの間水やり作業をお手伝い頂けるボランティアを募集しています。作業時間は30分で、期間中2回位作業当番をして頂きます。 問合せ 担当：小林 090-3240-0958 まで



一鉢 19株あります。

ボランティア募集

- 1) 創造の杜で行われる「とけサマーフェスティバル」 8/18、8/19に参加します。
今年はテントを出し、AIFSの歴史・現在・未来の展示とサロンをお休み所として設営する予定です。
昨年、プラザ祭りで人気のあったゲームコーナーも予定しています。是非お寄りください。
- 2) 「千葉大学留学生と土気高校の交流イベント」 の支援ボランティアを募集しています。
内容：千葉大学で勉学に励んでいる外国人留学生が土気高校を訪問し、クラブ活動の紹介などを通して交流するイベントです。大好評だった昨年に引き続き実施いたします。ボランティアの方には、留学生の引率、土気駅ー土気高校の送り迎えなどのサポートをお願いします。
2018年8月24日に行います。
< 電話番号 043-294-9551。受付時間 木曜、金曜の10時~16時 >
E-mail: aifs@eastcom.ne.jp

編集後記

今回は、ホキ美術館取材しました。まさか、スペインとのつながりがあるとは思わなかったです。スペインの絵画があすみが丘に到来する来年が楽しみです。次号も、また面白い記事を載せます。(By Dr. Obata)